

(5) 討論主題---『ノンコーディング RNA の最先端分析手法にせまる』

オーガナイザ：鳥村政基（産総研）・谷 英典（産総研）

哺乳動物ゲノムの 9 割を占めるノンコーディング領域から、多種多様なノンコーディング RNA が転写される。ノンコーディング RNA の生体内機能としては、DNA もしくは RNA を標的とするものや、RNA 結合タンパク質を介して機序するもの等が報告されているが、その多くは未だ謎である。本セッションでは、質量分析技術から次世代シーケンサ解析に至る様々な視点からノンコーディング RNA に迫る第一線の研究者を集結し、ノンコーディング RNA の最先端分析手法について議論したい。

【依頼講演】

- 1) 大規模ノンコーディング RNA 解析を可能とする次世代シーケンサの活用（産総研）谷 英典
- 2) RNA 定量分析における妥当性評価のための認証標準物質（産総研）藤井紳一郎
- 3) モノリス型キャピラリーデバイスを利用した核酸の精密分離分析技術の開発（東薬大）梅村知也
- 4) RNA 検出・細胞内イメージングのための蛍光性核酸結合プローブの分子設計（東北大）西澤精一
- 5) ナノフローLC-MS/MS とデータベース検索をもちいた RNA 転写後修飾の解析（理研）中山 洋
- 6) 哺乳類遺伝子のポリシストロニック性を検証する（東工大）相澤康則

※演題は仮題を含みます。